

よこすか子育て支援計画実施計画進行管理表（平成21年度実施状況）

具体的施策の実施状況

よこすか子育て支援計画実施計画P23  
 第4章 具体的施策  
 子育てを取り巻く課題に適切に対応するために、「計画の基本的考え方」に基づき、具体的な施策の内容を示し、子どもとすべての子育て家庭に対する支援を着実に推進していきます。

1 すべての子どもの子育て、子育て支援の充実

(1) 地域における子育て支援サービスの充実

①家庭等における養育支援事業

1	<b>ア 出前型子育て相談、訪問指導・相談の充実</b>
新生児のいる家庭への訪問指導、相談などにより個々の家庭に対する支援を充実していきます。子育てアドバイザーや保健師、栄養士、歯科衛生士、保育士等が地域でのイベント・集会、子育てグループの活動などの求めに応じて出張出前型育児相談を行います。	
施策推進部課	こども育成部 こども健康課・こども青少年支援課
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19年度から生後4か月までの乳児がいる家庭を保健師、助産師が訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問」を行っている。 21年度実績 6,834件</li> <li>・19年度から、従来から行っている子育てグループ支援に加え、妊娠中から産後4か月までの子と親を対象とした出張型妊産婦支援（おしゃべりサロン）を開始した。 21年度実績 子育てグループ支援／177回 3,646人 おしゃべりサロン／41回 555人</li> <li>・12年度から、子育てアドバイザーによる出張親子サロン「わいわい広場」を開催。 21年度実績 市内11会場で70回開催</li> </ul>
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施し、早期から各家庭に沿った相談や情報提供を行う。</li> <li>・地域の子育てグループ支援や出張型妊産婦支援（おしゃべりサロン）、子育てアドバイザーによる出張親子サロン「わいわい広場」を継続して実施する。</li> </ul>

2	<b>イ 病後児保育（派遣型）の推進</b>	(21年度までに270回)
病気回復期の子どもの保育に対応するために実施している乳幼児健康支援デイサービスセンターを補完するため、児童の自宅等に看護師等を派遣する事業を推進していきます。		
施策推進部課	こども育成部 保育課	
実績	未実施 【未実施理由】 乳幼児健康支援デイサービスセンターの利用実績から、センターを補完する事業をさらに実施するのではなく、現在行っている病児・病後児保育を継続実施することが当面必要と考えられるため。 21年度利用実績 延301人（受け入れ可能人数 1,470人）	
今後の予定	乳幼児健康支援デイサービスセンターでの病児・病後児保育を継続するとともに、潜在的ニーズの把握に努め、より利用しやすい病児・病後児保育を検討する。	

<b>3</b>	<b>ウ ファミリー・サポート・センターの充実</b>	<b>(21年度までに1箇所)</b>
多様なニーズへの対応が可能となるよう市内全域における支援会員（おまかせ会員）の確保に努めます。また、会員同士の交流などを行うほか、子育てが終わった依頼会員（よろしく会員）が支援会員として登録し、次の子育て世代を支援するなど組織の活性化が図られるよう努めていきます。		
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課	
実績	13年度からファミリー・サポート・センターを1箇所設置している。 19・20年度はおまかせ会員の少ない地区で会員を養成するための研修会を開催し、おまかせ会員の確保に努めた。19年度は西地区、20年度は北地区で開催。21年度は地区交流会を5地区で開催し、会員同士の交流を深めた。 21年度実績 よろしく会員1,360人 おまかせ会員469人 どちらも会員127人	
今後の予定	引き続き、交流会、会員研修会を行い活動の活性化を図っていく。	

<b>4</b>	<b>エ 家庭保育福祉員制度の充実</b>
少人数保育のニーズに対応するため、保育士、看護師等の居宅において、家庭的な保育事業の充実を図っていきます。	
施策推進部課	こども育成部 保育課
実績	21年度実績 家庭保育福祉員 17名（うち保育士資格有 13名） 利用児童数 延239名
今後の予定	児童福祉法が改正され、「家庭的保育事業」が児童福祉法に明記され法制化されたことを受け、今後、家庭保育福祉員への研修や支援の内容、安全基準が省令で示される予定であることから、省令の内容を検討し、家庭保育福祉員制度の充実を図っていく。

<b>5</b>	<b>オ 育児支援家庭訪問事業の推進</b>
出産後間もない時期や様々な原因で養育が困難になっている家庭に対して、ヘルパーや保健師・助産師等を派遣し、育児・家事の援助や育児に関する技術指導を行うことにより、個々の家庭の抱える養育上の問題の解決、軽減を図るための事業を推進していきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課
実績	養育支援が必要な家庭に訪問援助を行っている。 21年度実績 ヘルパー派遣15件（延140日） 助産師派遣23件（延110日） ケース会議73回
今後の予定	引き続き、養育支援が必要な家庭への訪問援助を実施する。

## ②保育園、幼稚園等における養育支援事業

6 ア ショートステイ（短期入所生活援助）事業の推進（21年度までに2箇所／10人）	
保護者が疾病、仕事、育児疲れなどにより、子どもの養育が一時的に困難になった場合、児童養護施設等においてその家庭の子どもや母親を、一時的に預かる事業を推進していきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年企画課・こども青少年支援課
実績	未実施 【未実施理由】 児童養護施設は民設民営で事業者がショートステイ事業を実施するに至っていないため。また、母子生活支援施設も民設民営で母親が子どもの養育にあたることを前提としているため。
今後の予定	23年度中に開設を予定している乳児院及び児童養護施設の開設事業者へのショートステイ事業の実施の委託について検討する。

7 イ トワイライトステイ（夜間一時保育）事業の推進（21年度までに3箇所／35人）	
夜間保育の利用状況等を踏まえ、保護者が仕事等により帰宅が夜間になる場合や休日に勤務する場合に、児童養護施設において子どもを預かる事業を推進していきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年企画課
実績	未実施 【未実施理由】 児童養護施設は民設民営で事業者が事業を実施するに至っていないため。
今後の予定	潜在的ニーズの把握に努め、必要に応じて検討する。当面はファミリー・サポート・センターや休日保育、一時預かり事業などの保育サービス等の拡充で対応する。

8 ウ 病後児保育（乳幼児健康支援デイサービスセンター）の拡充（21年度までに2箇所／10人）	
病気回復期の子どもの保育に対応するため、医療機関等との連携により保護者が安心して預けられる、乳幼児健康支援デイサービスセンターの拡充を図っていきます。	
施策推進部課	こども育成部 保育課
実績	・乳幼児健康支援デイサービスセンター1か所（定員5人）を指定管理により運営し、病児・病後児を受け入れている。 21年度利用児童数 延291人 【目標未達成理由】 利用希望に応じて実施しているため。
今後の予定	引き続き、乳幼児健康支援デイサービスセンター1か所での病児・病後児保育を継続するとともに、潜在的ニーズの把握に努め、より利用しやすい病児・病後児保育を検討する。

9	エ 一時保育の拡充	(21年度までに12箇所/70人)
<p>家族の病気や入院・子どもの学校の用事等のやむを得ない理由や、保護者の育児疲れ解消等の私的な理由などにより、保護者が一時的に子どもの面倒をみられなくなる場合に、子どもを一時的に保育する事業の拡充を図っていきます。</p>		
施策推進部課	こども育成部 保育課	
実績	<p>公立保育園2箇所、私立保育園6箇所の計8箇所で実施している。 21年度実績 1日平均23人利用</p> <p>【目標未達成理由】 利用希望に応じて実施しているため。</p>	
今後の予定	引き続き、8保育園での一時保育を継続するとともに、潜在的ニーズの把握に努め、必要に応じて拡充を検討する。	

10	オ 特定保育（週3保育）の推進	(21年度までに1箇所20人)
<p>保護者がパート労働、定期的な看護・介護のために、週2～3日、または午前か午後のみなどに乳幼児を保育できず、かつ、同居の親族等も保育ができないと認められる場合に保育する事業を推進していきます。</p>		
施策推進部課	こども育成部 保育課	
実績	<p>市立上町保育園において、特定保育（定員10人）を実施している。</p> <p>【目標未達成理由】 利用希望に応じて実施しているため。</p>	
今後の予定	1保育園での特定保育を継続するとともに、潜在的ニーズの把握に努め、必要に応じて拡充を検討する。	

11	カ 幼稚園における預かり保育の拡充	(21年度までに平日1日1園10人, 19時まで, 20箇所)
<p>幼稚園における預かり保育について、その利用実績を踏まえて、平日の預かり保育における受け入れ幼児を増やすとともに、預かり保育時間の延長を図っていきます。また、春休み、夏休み等の長期休業における預かり保育の実施園を増やしていきます。</p>		
施策推進部課	こども育成部 保育課	
実績	<p>21年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平日 実施園数 37園のうち34園で実施</li> <li style="padding-left: 20px;">受入人数 1園平均 9.0人</li> <li style="padding-left: 20px;">終了時刻 平均17時41分</li> <li>・夏休み 実施園数 37園のうち20園で実施</li> </ul> <p>【目標未達成理由】 延長時間については各園で保護者ニーズに応じて実施しているため。実施園数は目標を上回っている。</p>	
今後の予定	引き続き、幼稚園での預かり保育の状況を把握する。	

12	<b>キ 商店街の空き店舗を活用した保育サービスをする場の確保</b>	
商店街の空き店舗を活用（賃借）して、商店街が保育サービスの場等として活用する場合に必要な店舗の改装費及び賃借料の一部を支援していきます。		
施策推進部課	経済部 商工振興課	こども育成部 保育課
実績	<p>空き店舗に限定するものではないが、活き活き商店街サポート事業補助のメニューに「子育てサポートにぎわい事業」がある。</p> <p>補助対象経費の3分の2、上限200万円。</p> <p>20年度実績 1件 衣笠商業連合会 21年度実績 なし</p>	
今後の予定	活き活き商店街サポート事業補助制度を継続する。	

13	<b>ク 余裕教室等の積極的な活用</b>	
子育て支援サービスの一環として、今後も学校教育に支障の無い範囲での余裕教室等の積極的な活用を図っていきます。また、長期休業中等を活用して、幼稚園における子育て相談や未就園児の親子体験保育などの推進を図っていきます。		
施策推進部課	こども育成部 保育課	生涯学習部 学校教育課
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の余裕教室等を改修し、放課後の居場所としてわいわいスクールを設置するとともに、15校を民間学童クラブへ開放している。</li> <li>21年度実績 わいわいスクール6校 余裕教室等の学童クラブへの開放 15校/50箇所</li> <li>・幼稚園では各園の実情や個別のニーズに応じて、長期休業中等の子育て相談や公開保育を実施している。</li> </ul>	
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余裕教室等の活用については、放課後児童施設（学童クラブ、わいわいスクール）を優先しながら、ニーズと余裕教室の状況を勘案して検討する。</li> <li>・引き続き、幼稚園で長期休業中等の子育て相談や公開保育を実施する。</li> </ul>	

### ③放課後における児童の健全育成事業

14	<b>ア 放課後の児童のための総合的な取組</b>
全児童を対象とした青少年の家（みんなの家）と横須賀わいわいスクール、放課後児童を対象とした学童クラブに対する助成事業を並列的に展開し、すべての放課後の子どもたちが安心して過ごせる生活の場・遊びの場の確保について、総合的・計画的に検討していきます。	
施策推進部課	こども育成部 保育課・こども青少年企画課
実績	放課後児童の居場所のあり方に関する提言（18年10月）をもとに、青少年の家（みんなの家）、わいわいスクール、学童クラブなどを実施、支援している。1小学校区に少なくとも1つの放課後児童施設が設置できるよう事業を進めている。 21年度実績 みんなの家15館 わいわいスクール6校 学童クラブ50箇所 放課後児童施設未設置小学区 6小学校区
今後の予定	引き続き、放課後児童の居場所の充実と、放課後施設のない小学校区の解消を進める。 22年度 学童クラブ4箇所増を予定

15	<b>イ 青少年の家（みんなの家）の充実</b>
青少年が安心して過ごせる場、多様な経験ができる場を広く提供するため、学校や地域組織と協力しながら周知を図っていきます。また、青少年の家指導員、放課後児童指導員の知識と技術向上の研修会の開催や、指導方法の検討をしていきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年企画課
実績	みんなの家やその事業を周知するため、ポスター掲示や広報への記事掲載、子ども会や学校へのチラシ配布を行っている。 年2回、みんなの家の指導員や放課後児童指導員に対し、研修会を実施している。また、県主催「子ども施設の指導員セミナー」（年1回）を指導員が受講している。
今後の予定	引き続き、ポスターや広報により、青少年の家やその事業を周知するとともに、研修により、青少年の家指導員の知識と技術の向上を図る。年2回、青少年の家指導員のミーティングを実施し、相互の情報交換により指導員の資質向上に努める。

16	<b>ウ 学童クラブへの支援</b>	<b>(21年度までに40箇所/1,360人)</b>
全小学校区に1学童クラブの設置を目標とし、学校余裕教室等の公共施設の利用促進を図るとともに、民間借家等を利用しているクラブの家賃補助の拡充を図るなど、学童クラブへの支援の拡充を図っていきます。また、ひとり親家庭の児童が在籍する学童クラブに対する支援を検討していきます。さらに、指導員の資質向上のため、研修の充実を図っていきます。		
施策推進部課	こども育成部 保育課	
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>学童クラブへの助成を行っている。 21年度実績 学童クラブ設置数 50箇所 利用者数 1,495人</li> <li>小学校の余裕教室15校を学童クラブへ開放している。</li> <li>長期休暇分長時間開設加算の新設（1日8時間を超える年間平均時間数×90,000円）</li> <li>障害児受入加算の拡充（年額687,000円から1,421,000円に引き上げ）</li> <li>指導員の資質向上のため、研修会を実施している。 21年度実績 指導員研修会 4回</li> </ul>	
今後の予定	引き続き、地域の実情に合わせながら支援の充実を図り、指導員研修を実施していく。 22年度は学童クラブ設置数 4箇所増、指導員研修会13回実施の予定。 22年度にひとり親家庭利用料の助成を新設する予定。	

#### ④ 子育て支援に関する情報の提供、相談及び助言等の実施

17	<b>ア (仮称)こどもセンターの整備</b>
平成18年度に児童相談所を設置することにもない、平成20年度に(仮称)療育相談センターと児童相談所を「主要機能」とする、子どもに関する総合的な施設として(仮称)こどもセンターを整備します	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年企画課
実績	20年4月、子育て支援の総合相談窓口、療育相談センターと児童相談所を持つ「はぐくみかん」を開設し、子どもに関する総合的、一体的な取り組みを行っている。
今後の予定	引き続き、「はぐくみかん」を拠点として、子どもに関する総合支援体制の強化、充実を図る。

18	<b>イ 関係部局における相談体制の充実や情報提供</b>
子どもに関する総合的な施設として整備する(仮称)こどもセンターが主体となって、子どもに関する総合的な相談体制を整備するとともに、多様な子育て支援サービスに関する情報を提供していきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課
実績	子どもに関する総合的、一体的な取り組みを進めていくための拠点として20年4月に子育て支援の総合相談窓口、療育相談センター、児童相談所を持つ「はぐくみかん」を開設し、相談窓口を集約するとともに、さまざまな子育て支援サービスに関する情報を提供している。 21年度実績 子育てガイド 9,000部、療育すこやかガイドブック 3,000部、療育相談ハンドブック支援者用マニュアル 1,000部
今後の予定	さらに利用しやすい相談窓口を目指すとともに、周知を図っていく。子育て支援サービスに関する情報提供を継続して行っていく。

19 ウ 地域の相談・情報提供窓口の充実		
子育てに悩みを抱える親の孤立化を防ぐため、健康福祉センター・親子サロンや保育園が地域における身近な相談窓口として機能するよう充実を図っていきます。また、幼稚園や小学校においても、カウンセラー等を活用し、幼児・児童に関する保護者からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言・援助を行えるよう相談体制の充実に努めていきます。		
施策推進部課	こども育成部 こども健康課・こども青少年支援課・保育課	生涯学習部 学校教育課
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・13年度から一部の健康福祉センター、20年度からすべての健康福祉センターで育児相談日（にっこり相談）を実施している。 21年度実績 27回 1,571人</li> <li>・健康福祉センターで、親のメンタルヘルス相談を実施している。 21年度実績 延75人</li> <li>・こども健康課で、悩みを抱える保護者のための心理相談を実施している。 21年度実績 延542人</li> <li>・その他、こども健康課と健康福祉センターで随時相談を行っている。 21年度実績 面接相談12,331件 電話相談26,696件</li> <li>・11年度に親子サロン「愛らんどよこすか」、14年度に「愛らんど追浜」を開設し、子育てアドバイザーによる子育て相談を実施している。</li> <li>・健康福祉センター内にも愛らんどを設置するとともに、愛らんどの補完事業として出張親子サロン「わいわい広場」を市内11会場で70回開催しており、子育ての相談・交流の場となっている。</li> <li>・公立保育園において、毎月1回園庭開放を行い、集団保育の体験や子育て相談に対応し、在宅で保育している世帯の子育てを支援している。</li> <li>・全小学校にふれあい相談員を各1名配置し、児童や保護者の相談に対応している。 また、中学校に配置されているスクールカウンセラーを小学校でも必要に応じて活用し、専門的な指導助言を行っている。</li> </ul>	
今後の予定	引き続き、相談体制の充実に努める。	

20 エ 地域子育て支援センターやつどいの広場（親子サロン）の充実（21年度までに7箇所）		
地域の子育てニーズを踏まえて、子育て支援センター「愛らんどよこすか」やつどいの広場（親子サロン）の整備と運営内容の充実に努めていきます。		
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課	
実績	<p>地域ぐるみの子育てネットワークづくりの一環として、子育て支援センター「愛らんどよこすか」と市内5箇所親子サロンを開設し、子育ての情報交換、相談の場として提供している。また、子育て支援センター等の補完事業として出張親子サロン「わいわい広場」を市内11会場で70回開催している。20年度に子育て支援センター及びつどいの広場の委託先をプロポーザル方式により決定した。</p> <p>【目標未達成理由】 適切な会場の確保等が難しいため。</p>	
今後の予定	引き続き、「愛らんど」等を運営するとともに、会場の確保について検討するなど内容の充実に努める。	

21	<b>オ 子育てグループ等の育成・活動の支援</b>
<p>健診などを契機とする自主的なグループの組織化を支援するとともに、その活動場所や内容のPR、グループ間のネットワークづくりの支援などを行っています。母親クラブに対しては、引き続き活動に対する支援を行うことと併せ、新たなクラブの組織化を支援していきます。</p>	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課・こども健康課・こども青少年企画課
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センター等や市のホームページで子育てグループの情報を紹介している。</li> <li>・育児教室等を契機とした子育てグループ支援を実施している。</li> <li>・単位母親クラブへの補助金交付のほか、母親クラブ連絡会への明るい家庭・地域づくり推進事業の委託を通じて母親クラブ活動の支援を行っている。</li> </ul>
今後の予定	引き続き、子育てグループ、母親クラブ連絡会及び単位母親クラブの活動を支援する。

22	<b>カ 保護者の交流や活動の場の提供</b>
<p>親たちが気軽に安心して集える場を提供するため、既存の公共施設等の有効活用と子育て支援施設の整備拡充を進めていきます。</p>	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課・こども青少年企画課・こども健康課
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センター「愛らんどよこすか」を中心に、「愛らんど追浜」、各健康福祉センター内の「愛らんどウェルシティ」「愛らんど田浦」「愛らんど久里浜」「愛らんど西」の計6ヶ所を設置している。</li> <li>・愛らんどのない地域のため、出張親子サロン「わいわい広場」を市内11会場で70回開催し、親たちが気軽に集える場を提供している。</li> <li>・愛らんどがより安心して利用できる場となるよう、ご意見BOXを設置し、保護者の意見を反映させている。</li> <li>・青少年の家15館は子ども連れの親たちの交流の場としても利用されている。</li> <li>・地区社会福祉協議会が実施する子育て広場の会場を確保し、支援を行っている。</li> </ul>
今後の予定	引き続き、愛らんど、わいわい広場、みんなの家を保護者の交流や活動の場所として提供するとともに、地区社会福祉協議会の子育て広場の実施を支援する。

## (2) 保育サービスの充実

23	<b>ア 保育園定員の拡充</b>	(21年度までに39箇所／3,770人)
<p>地域における保育需要、待機児童に対応するため、施設整備時に併せて定員を見直し拡充を図っていきます。また、保育園の補完的な役割を果している家庭保育福祉員制度をさらに推進して受け入れ児童を増やすとともに、柔軟な保育を行っていきます。</p>		
施策推進部課	こども育成部 保育課	
実績	<p>待機児童数等地域の実情に合わせ定員の拡充を行っている。 20年度 40園 3,666人 21年度 40園 3,690人</p> <p>【目標未達成理由】 拡充のための調整等に時間を要するため。22年度までに目標達成見込み。</p>	
今後の予定	<p>施設整備における財政支援制度を創設し、定員の拡充を図る予定。 22年度 41箇所 3,795人予定</p>	

24	<b>イ 延長保育の拡充</b>	(21年度までに32箇所／580人)
<p>就労時間の多様化による保育ニーズに対応するため、地域性なども考慮し延長保育の実施施設を増やすなど拡充を図っていきます。</p>		
施策推進部課	こども育成部 保育課	
実績	<p>多様化した保育ニーズに対応するため、延長保育の充実を図っている。 21年度延長保育実施園 39箇所（556人）</p> <p>【目標未達成理由】 利用者数は保護者の就労状況に伴うニーズによるため。</p>	
今後の予定	22年度に2か所増の予定	

25	<b>ウ 休日保育の拡充</b>	(21年度までに3箇所／30人)
<p>保護者の就労状況や保護者の病気などの理由によって、緊急、一時的に保育が困難となった場合の保育のニーズに対応できるよう、休日保育の拡充を図っていきます。</p>		
施策推進部課	こども育成部 保育課	
実績	<p>21年度休日保育実施園 1か所（1日平均7人）</p> <p>【目標未達成理由】 利用希望に応じて実施しているため。</p>	
今後の予定	<p>引き続き、1園での休日保育を継続するとともに、潜在的ニーズの把握に努め、必要に応じて拡充を検討する。</p>	

26	<b>エ 夜間保育の推進</b>	(21年度までに3箇所/90人)
保護者の就労等によって、夜間まで保育を必要とするニーズに対応するため、新たに実施施設を設け、夜間保育事業を推進していきます。		
施策推進部課	こども育成部 保育課	
実績	未実施 【未実施理由】 夜間保育を実施できる適当な施設がないため。	
今後の予定	潜在的ニーズの把握に努め、必要に応じて検討する。当面はファミリー・サポート・センターなどの保育サービス等の拡充で対応する。	

27	<b>オ 障害児保育の充実</b>
障害児保育のさらなる推進に向け、関係機関との調整を図りながら積極的な受け入れを進めていきます。また、入所児童のうち経過観察を要する児童等についてもサポート体制の充実を図っていきます。	
施策推進部課	こども育成部 保育課・こども青少年支援課
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立保育園では、障害児の受け入れを推進するため、基準を超えて保育士（臨時職員）を配置している。</li> <li>・民間保育園については、補助制度を設け障害児の受け入れを促進している。</li> <li>・療育相談センターによる各施設への巡回相談を実施している。</li> </ul> <p style="text-align: center;">21年度実績 巡回相談 幼稚園46回訪問・59件相談 保育園34回訪問・90件相談</p>
今後の予定	引き続き、障害児の受け入れの推進と、療育相談センターによる巡回相談を実施する。

28	<b>カ 事業所内保育施設整備</b>
事業所内における子育て環境の充実を図るため、保育施設の設置など、企業等への働きかけを行っていきます。	
施策推進部課	こども育成部 保育課      市民部 人権・男女共同参画課
実績	21年度事業所内保育施設 19か所 事業所への直接的な働きかけはしていないが、「仕事と生活のバランスと働き方の見直し」を男女共同参画プランの重点課題の一つに位置づけ、広報紙ニューウェーブ等でワーク・ライフ・バランスや子育てしながら働きやすい環境づくり等に対する意識の啓発を行っている。
今後の予定	引き続き、ワーク・ライフ・バランスや働きながら子育てしやすい環境づくり等に対する意識啓発等を行う。

29	<b>キ 届出保育施設の育成・指導・監督</b>
認可を受けていない保育施設に安心して子どもを預けられるよう、届出保育施設の育成に努めるとともに、指導、監督を行っていきます。	
施策推進部課	こども育成部 保育課
実績	認可外保育所への指導、監督を行っている。 21年度認可外保育所 23か所
今後の予定	引き続き、認可外保育所への指導、監督を行う。

30	<b>ク 保育士・幼稚園教諭等の研修</b>
保育・幼児教育の質を高めるとともに、家庭における乳幼児教育を支援するため、保育士、幼稚園教諭等の研修を実施していきます。	
施策推進部課	こども育成部 保育課 生涯学習部 学校教育課
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士研修実施機関に補助金を交付し、研修受講体制の整備を図っている。</li> <li>・研修等の経費の一部として、幼稚園協会に補助金を交付している。</li> <li>・幼稚園教諭、保育士を対象とした研修講座を年4回行っている。</li> </ul>
今後の予定	引き続き、研修受講体制の充実を図っていく。

31	<b>ケ 就学前の教育・保育を一体として捉えた一貫した総合施設の検討</b>
保育ニーズに応じ、就学前の教育・保育を一体として捉える一貫した総合施設について、国の動向等も踏まえ検討していきます。	
施策推進部課	こども育成部 保育課 生涯学習部 学校教育課
実績	<p>幼保を一元化した新たな総合施設（認定こども園）の検討はしていないが、幼稚園の預かり保育や保育園での多様な保育、幼稚園と保育園を連携させた運営などさまざまな取り組みが行われている。</p> <p>【未実施理由】 現在、幼稚園、保育園でそれぞれの特色を生かした適切な運営が行われており、認定こども園については、早期に実現を図る必要性は低いと考えられるため。</p>
今後の予定	現状の保育園、幼稚園の取り組みを進めていく。

### (3) 子育て支援のネットワークづくり

32 ア 相談機関のネットワークづくり	
適切かつ有効な相談・支援を行うために子育ての相談に関わる各機関（児童相談所、（仮称）療育相談センター、青少年相談センター、教育相談室、健康福祉センター、子育て支援施設等）のネットワークを強化していきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課・こども健康課・児童相談所
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17年度にこども家庭地域対策ネットワーク会議を設置し、児童相談所、健康福祉センター等、関係機関の連携の強化を図っている。個人情報保護に配慮しながら、要保護児童等に関する情報の共有化を図り、支援方針や各機関の役割を確認している。</li> <li>・20年4月、はぐくみかんの開設に伴い、子どもへの支援を一体的に行うため、子育ての相談窓口を一本化した。</li> <li>・発達相談に関する連携を図るため、心理相談員連絡会を年1回開催している。</li> </ul>
今後の予定	引き続き、ネットワークを生かし、相談機関の連携強化を図っていく。

33 イ 保健・医療・福祉のネットワークづくり	
保健・医療・福祉の連携を図り、周産期にまつわる問題をはじめ、子育てに対して適切な支援ができるよう、関係機関の職員で構成する連絡会等を活用し、ネットワークを強化していきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども健康課・こども青少年支援課
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出産を取り扱っている市内総合病院及び近隣総合病院、助産院、訪問指導員、関係職員による周産期保健看護連絡会を年1回、開催している。</li> <li>・妊娠中から出産後に、医療機関において親への継続的な支援が必要と判断された場合、継続看護連絡票により市が連絡を受け、家庭訪問等につなげている。</li> <li>・17年度から要保護児童等の支援のため、こども家庭地域対策ネットワーク会議を設置している。医師会や警察、福祉事務所、健康福祉センターなどが参加し、実務担当者連絡会議やサポート会議などを実施している。</li> </ul>
今後の予定	引き続き、年1回、周産期保健看護連絡会を開催するとともに、要保護児童等の支援のため、地域の課題を共有しつつネットワークの強化を図っていく。

34 ウ 研修や実習の場としての保育園、幼稚園等の活用	
保育園、幼稚園等の保育、教育施設の積極的な活用を推進し、中高生の保育体験からインターンシップ（就業体験）の受け入れ、また短大生、大学生などの保育実習の機会をさらに増やし、充実を図っていきます。	
施策推進部課	こども育成部 保育課 生涯学習部 学校教育課
実績	保育園や幼稚園で中高生の職場体験や短大生、大学生などの保育・教育実習の受け入れを積極的に行っている。
今後の予定	引き続き、職場体験や保育・教育実習の受け入れを積極的に行っていく。

35	<b>エ 保育園、幼稚園、各種教室等での中高生やボランティアによる子育て支援の推進</b>
中高生やボランティアに対し保育等への参加を積極的に呼びかけ、保育を通して子育て意識の啓発と世代間の交流を深めていきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課・こども健康課・保育課 生涯学習部 学校教育課
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育を要するイベントで地域のボランティアと中高生に保育ボランティアを依頼し、交流を図っている。 21年度実績 6回 45人</li> <li>・年2回のツインズ全体会において、中高生を含めた保育ボランティアを社会福祉協議会ボランティアセンターを通じて受け入れている。 21年度実績 37人</li> <li>・健康福祉センター、保育園、幼稚園において、中高生の職場体験を受け入れるとともに、ボランティアセンターを通じてボランティアを受け入れている。</li> <li>・総合的な学習の時間等を活用し、中高生が乳幼児とふれあう機会を計画的に設けている。</li> </ul>
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、ツインズ全体会など保育を要するイベントでの保育ボランティアを積極的に呼びかけるとともに、健康福祉センター、保育園、幼稚園において中高生の職場体験やボランティアの受け入れを行う。</li> <li>・学校においても、各校の工夫のもと乳幼児とふれあう機会を計画的に設けていく。</li> <li>・ボランティアセンターが行うボランティア育成に協力していく。</li> </ul>

36	<b>オ 各種子育てサービスに関する情報提供の充実</b>
子育てガイド、ホームページなどに掲載する情報の内容の充実や関連機関と連携した情報提供を行うことにより、本市が実施している子育てサービスに対する認識度を高めていきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課・こども健康課
実績	<p>子育てに関する相談窓口や子育て支援サービスに関する情報を市ホームページに掲載するとともに、子育てガイド等の冊子を作成し、母子健康手帳交付時やこんにち赤ちゃん訪問時に配布している。</p> <p>21年度実績 子育てガイド 9,000部発行 療育すこやかガイドブック 3,000部発行 療育相談ハンドブック支援者用マニュアル 1,000部発行 子育て情報パンフレット「こんにち赤ちゃん」 3,500部発行</p>
今後の予定	引き続き、子育てガイド等の冊子を発行するとともに、ホームページに子育て支援情報を掲載し、支援を必要とする人に情報が届くよう取り組んでいく。21年度から母子保健テキスト「HAGUKUMI BOOK」を作成、母子健康手帳交付時に配布する。

37	<b>カ 父親のための子育て冊子の作成</b>
父親の育児参加を積極的に進めていくため、父親に直接情報が届く父親向けの子育て冊子を作成します。	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課
実績	<p>17年度に「お父さんのための子育てガイド」を市民ボランティア（父親）、子育てアドバイザーとともに作成、母子健康手帳交付時に配布している。20年度は編集会議を開催し、内容の見直しを行った。</p> <p>21年度実績 3,500部作成</p>
今後の予定	引き続き「お父さんのための子育てガイド」を配布する。

38	<b>キ 公開保育の実施</b>
<p>保育園・幼稚園が地域に開かれたより身近な存在となるよう、施設見学会や公開保育などの機会を拡充するとともに、親同士の情報交換や交流の場としても活用を図っていきます。</p>	
施策推進部課	こども育成部 保育課 生涯学習部 学校教育課
実績	<p>公立保育園において、毎月1回園庭開放を行い、集団保育の体験や子育て相談に対応し、在宅で保育している世帯の子育てを支援している。</p> <p>幼稚園において、未就園児のための施設見学や公開保育及び体験保育等を複数回実施している。</p>
今後の予定	引き続き、園庭開放や施設見学等を実施するとともに、地域への広報を行う。

39	<b>ク 子育て支援教室の実施</b>
<p>医師・保健師・栄養士・歯科衛生士・保育士・幼稚園教諭・理学療法士等多職種を活用し、地域のグループなどに、子育て支援のための教室を実施していきます。</p>	
施策推進部課	こども育成部 こども健康課
実績	<p>地域のグループ支援を目的とし、医師・保健師・管理栄養士・歯科衛生士・保育士・幼稚園教諭・理学療法士等専門職種による健康づくり教室を実施している。</p> <p>21年度実績 177回 3,646人</p>
今後の予定	引き続き、積極的に地域でのグループ支援を実施する。

40	<b>ケ 地域での見守りによるきめ細かな子育て支援の推進</b>
<p>市内4か所の健康福祉センターを中心に地区社会福祉協議会、ボランティアセンター、民生委員児童委員協議会、青少年団体、NPO、子育てグループなど地域の子育てに関わる様々な団体が連携し、ともに子育てを見守ることで、行政だけでは対応できないきめ細かな子育て支援が推進されるよう諸団体との連携を進めていきます。</p>	
施策推進部課	こども育成部 こども健康課・こども青少年企画課・こども青少年支援課
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツインズ全体会の開催にあたり、社会福祉協議会ボランティアセンターに中高生を含めた保育ボランティアの派遣を依頼している。</li> <li>・妊産婦サロンなどの各種教室の実施の際に、市民が地域の中で安心して子育てできるよう地区社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会へ協力を依頼し、地域の中での支援につなげている。</li> <li>・子ども会指導者協議会や母親クラブなど、青少年関係団体との連携や活動支援を通じて、地域での子育て支援を推進している。</li> <li>・地区社会福祉協議会の主催する地区の子育て広場に協力している。</li> </ul>
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、地域の中の子育て支援ステーションとして健康福祉センターの役割を果たしていくとともに、子育て支援に取り組む地域の活動に協力していく。</li> <li>・青少年関係団体との連携や活動支援を継続して行う。</li> </ul>

41	<b>コ 子育てグループの活動の場（保育園、幼稚園を含む）等の提供</b>
<p>既存の施設などを活用した場を提供するとともに、イベント等への人的支援やグループの活動情報のPR等の協力などを行っていきます。地域に密着した子育て支援施設である保育園、幼稚園の機能を有効的に活用し、子育て中の親たちの自主的な活動を支援する場としていきます。</p>	
施策推進部課	<p>こども育成部 こども青少年支援課・こども青少年企画課・こども健康課・保育課 生涯学習部 学校教育課</p>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センターやつどいの広場で子育てグループに活動の場と子育てに関する情報を提供している。</li> <li>・各種教室参加者等を対象に孤立化防止・仲間作りを目的とした自主グループづくりを勧めている。また、グループ活動をPRしたり、依頼があれば、講師の派遣も行っている。講師派遣 21年度実績 177回</li> <li>・母親クラブ連絡会をはじめ青少年関係団体の行事会場の優先予約やPR協力等の支援を行っている。</li> <li>・みんなの家15館は子育てグループにも利用されている。</li> <li>・保育園や幼稚園に通う子どもの保護者に、施設を活用して子育てグループの活動情報を提供している。また、保護者の自主的な活動の場として施設を提供したり、教員・保育士も共に活動し、支援を行っている。イベントや行事等に限らず、放課後の園庭開放により親同士が子育てに役立つ情報を交換する場を提供している。</li> </ul>
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、子育てグループの育成を継続し、活動の場の提供や活動のPRを行うとともに、講師の派遣等を行っていく。</li> <li>・青少年関係団体の会場の優先予約やPR協力等の支援を継続して行う。</li> <li>・子育て中の親達の自主的な活動を支援する場として保育園、幼稚園を活用し子育て支援を行っていく。</li> </ul>

42	<b>サ 子育て中の父親のネットワークづくり</b>
<p>父親が子育てに関する相談や父親同士の情報交換を行う機会をつくり、子育てに参加する意識を啓発していきます。また、初めての子育てに臨む父親に、子育て経験のある父親からその経験談やアドバイスを聞く機会、父子で参加できる講座や体験教室を開催していきます。さらに、父子家庭に対し、父親としての役割について考える場を提供するなど、父親の子育てを支援していきます。</p>	
施策推進部課	<p>こども育成部 こども青少年支援課</p>
実績	<p>17年度に「お父さんのための子育てガイド」を市民ボランティア（父親）、子育てアドバイザーとともに作成、母子健康手帳交付時に配布している。20年度は編集会議を開催し、内容の見直しを行った。21年度にはお父さんのための子育て講座を開催し、子どもとのかかわり方や、父親の役割について学ぶ機会を提供した。</p> <p>21年度実績 3,500部作成</p>
今後の予定	<p>引き続き「お父さんのための子育てガイド」を配布するなど、父親の子育て支援を行っていく。</p>

#### (4) 児童の健全育成

43	<b>ア 児童が自主的に参加し、遊べ、安全に過ごすことのできる居場所づくりの推進</b>		
児童が自主的に参加し、自由に遊ぶことができ、安全に過ごすことができる放課後や週末、長期休業中等の居場所づくりとして、関連機関の施設における活動を充実させるとともに、その活動について、ホームページ等を通して広報していきます。			
施策推進部課	こども育成部 保育課・こども青少年企画課		
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校6校にわいわいスクールを設置し、放課後の居場所として提供している。</li> <li>・学童クラブを運営している団体に対し、財政支援や研修等を行っている。 21年度実績 学童クラブ50箇所</li> <li>・各みんなの家に放課後児童指導員を配置し、長期休暇中も含め、子どもに安全・安心な居場所を提供している。</li> </ul>		
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・22年度は学童クラブ4箇所増の予定。</li> <li>・引き続き、各青少年の家に放課後児童指導員を配置する。</li> </ul>		

44	<b>イ 少年非行等の問題を抱える児童の相談、立ち直り支援、保護者の子育て支援、ひきこもり、不登校へ対応する地域のセイフティネットの強化</b>		
地域の保育園や幼稚園、学校、民生委員、主任児童委員等の研修と連絡会を実施し、ネットワークを強化していきます。			
施策推進部課	こども育成部	こども青少年支援課	生涯学習部 学校教育課 健康福祉部 健康福祉総務課
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠中及び乳幼児期から概ね20歳未満の子どもに関する様々な相談に総合的に取り組み、早期に問題解決を図るため、保健師、社会福祉士、臨床心理士、教員、医師等の専門職員を配置して相談支援業務に臨んでいる。地域の保育園、幼稚園、学校、民生委員</li> <li>・その他、関係機関との連携を密に行い、子どもとその保護者、家庭を守るネットワーク会議を随時開催している。</li> <li>・全ての小学校・中学校に配置されているふれあい相談員・訪問相談員・スクールカウンセラー等や地域の民生委員、関係機関等と連携し、子どもの教育相談とともに保護者の子育て相談を行っている。</li> <li>・横須賀市民生委員児童委員協議会に活動費を支給したほか、研修を行った。</li> </ul>		
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに関する総合相談窓口としての機能をさらに充実させ、個々の相談事案を通して問題の早期解決を図るため地域の関係機関等との連携を図る。</li> <li>・引き続き、問題を抱える児童・生徒の相談や保護者の子育て支援を強化する。</li> <li>・横須賀市民生委員児童委員協議会に活動費を支給するほか、研修を行う。</li> </ul>		

45	<b>ウ 主任児童委員の活動支援</b>
地域における子育て支援の中心的な担い手である主任児童委員との連携を図り、子育てに悩みや不安を抱える親たちのサポートができるよう、活動の場の提供や職員の派遣など、地域の実情に応じた支援を行っていきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課・こども健康課   健康福祉部 健康福祉総務課
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>主任児童委員が出張親子サロンに参加し、子育てアドバイザーとともに地域の子育て相談を行っている。 21年度実績 出張親子サロン 市内11会場 70回</li> <li>地域で主任児童委員が開催する講習会などに、職員や子育てアドバイザーが講師として協力している。</li> <li>各健康福祉センターで主任児童委員連絡会議を定期的実施している。</li> <li>横須賀市民生委員児童委員協議会に主任児童委員の活動費を支給するほか、研修を行っている。</li> </ul>
今後の予定	引き続き、出張親子サロンなどの活動の場の提供、職員や子育てアドバイザーの派遣等により、主任児童委員の活動を支援していく。

46	<b>エ (仮称) よこすか青少年プランの策定</b>
青少年の健やかな成長と、それを支える地域社会づくりを総合的・計画的に支援し、推進するため、平成17年度に「(仮称)よこすか青少年プラン」を策定します。	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年企画課
実績	17年度に、18～21年度を計画期間とする「よこすか青少年プラン」を策定し、プランに基づく事業、進行管理を行った。青少年にかかわる施策も含め、22～26年度を計画期間とする「よこすか次世代育成プラン」を22年2月に策定した。
今後の予定	「よこすか次世代育成プラン」に基づく事業を推進し、進行管理を行う。

47	<b>オ 地域における個人、青少年団体等に対する支援</b>
地域において青少年の健全育成を目的に活動する青少年団体・青少年育成団体がそれぞれの機能を十分生かし、自主的、主体的な活動ができるよう育成、支援することにより青少年の健全育成を推進していきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年企画課
実績	青少年関係団体への補助金交付や事業委託、青少年育成推進員の委嘱などにより、自主的、主体的な青少年の健全育成・非行防止の取り組みを支援している。
今後の予定	引き続き、青少年関係団体への補助金交付や事業委託、青少年育成推進員の委嘱などにより、自主的、主体的な青少年の健全育成・非行防止の取り組みを支援する。